

仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



■地震・雷・火事・おやじ

平成16年3月4日掲載

明日と言わず、地震対策はきょう今日(京)から!

本日のテーマは「地震、雷、火事、おやじ」……………。



青葉区中江地区震災研修会

「地震、雷、火事、おやじ」は、昔から怖いものの代名詞のように言われてきています。「おやじ」は親父ではなく、やまじ風(突風)のことだという方もいますが、ともあれそこには、突発的な災害の怖さと、人間の無力さが表現されています。

その中でも怖いものの第一が、地震です。いつどこで起きるかわからないし、もちろん、止めることもできません。

しかし、人間が自然に対し、無力だとあきらめることはありません。前もって対策をとれば助かることができるだろうし、被害も最小限にとどめることができるのではないのでしょうか。みなさまはいかがお考えですか?

1978年(昭和53年)の宮城県沖地震のときに、事前に地震が起ると予告があったでしょうか。誰も想像が付きませんでした。

しかし、今は、違います。発生確率をみなさんは、聞いているではありませんか?

平成15年6月に国の地震調査委員会は、今後10年以内に38%、30年以内に99%の確率で次の宮城県沖地震が発生すると発表しました。

みなさんは、これを聞いて、ただ、じっと待っていますか?何もしなければ、「地震、雷、火事、おやじ」と、ただ怖がった昔の人と同じように、地震の被害をもろに受けてしまいます。



例えば天気予報で雨の確率が30%だったら、あなたは傘を持って行きますか?

さあ、今からでもおそくありません。自分で自分を守る地震対策をはじめましょう。

今が、準備のチャンスです。